



# 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 豊田通商株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加留部 淳

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 内山 和浩

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,896,469	15.6	40,915	55.3	46,069	31.8	21,779	△3.9
25年3月期第1四半期	1,640,132	25.2	26,343	93.0	34,951	47.9	22,671	36.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 87,132百万円 (334.2%) 25年3月期第1四半期 20,066百万円 (△12.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	62.07	62.00
25年3月期第1四半期	64.80	64.78

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,689,383	993,111	22.4
25年3月期	3,592,368	920,043	21.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 827,481百万円 25年3月期 760,175百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500,000	19.0	155,000	33.8	162,000	29.8	71,000	5.3	202.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	354,056,516 株	25年3月期	354,056,516 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	3,063,988 株	25年3月期	3,268,023 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	350,892,735 株	25年3月期1Q	349,889,205 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済環境を概観しますと、世界的な金融緩和のもと、全体として緩やかな回復傾向が続きました。米国は雇用の改善と堅調な消費で回復基調を維持し、欧州は引き続き後退局面にあるものの、一部に下げ止まりの兆しが見られました。一方、中国、インドを中心とする新興国経済については、減速傾向が強くなりました。

こうした中、わが国経済は、いわゆるアベノミクスによる各種経済政策の効果により、円安・株高となり、企業や家計の景況感が改善しました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は新規連結会社及び円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を2,563億円(15.6%)上回る1兆8,964億円となりました。

これを事業本部別にみますと以下のとおりであります。なお、周辺環境の変化に対応するため、平成25年4月1日より一部の本部を改編し、また、生活産業・資材本部については名称を生活産業本部に変更しております。

金属本部は、鉄鋼分野では、海外自動車生産増加に 대응するため事業会社の能力増強に取り組みました。非鉄金属分野では、引き続きレアアースの生産に取り組みました。鉄鋼原料分野では、顧客サービス向上のため鉄鋼原料部を環境・リサイクル事業推進部に統合しました。売上高については、国内及び中国の自動車生産台数の減少はあったものの、円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を67億円(1.5%)上回る4,564億円となりました。

グローバル生産部品・ロジスティクス本部では、インドネシア最大の自動車部品メーカーであるPT Astra Otoparts Tbkに出資し、同国における自動車関連事業の更なる拡大・強化を図りました。売上高については、中国の自動車生産台数の減少はあったものの、円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を80億円(3.7%)上回る2,202億円となりました。

自動車本部では、資本参画したCFAO S.A.との協業をより強固にするため、戦略提携事業部を新設しました。また、ケニアでの日野自動車株式会社のトラック現地組み立てを開始するとともに、拠点を新設し、販売・サービスを開始しました。売上高については、海外の自動車販売増加及び新規連結会社の影響により、前年同四半期連結累計期間を1,014億円(49.9%)上回る3,046億円となりました。

機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部は、機械分野では、事業効率化のため、電子装置部をユニット機械部へ統合しました。エネルギー・プラントプロジェクト分野では、国内の風力・太陽光発電事業の開発に注力しました。売上高については、主に石油製品等の取り扱い増加により、前年同四半期連結累計期間を579億円(17.1%)上回る3,961億円となりました。

化学品・エレクトロニクス本部は、化学品分野では、マレーシアのリサイクル樹脂コンパウンド会社であるMetro Wealth Polymer Sdn Bhdに出資し、現在取り組み中のバイオ樹脂とともに、環境に優しい樹脂材料への更なる取り組み強化を図りました。エレクトロニクス分野では、HEV事業をより一層強化するためHEV事業推進部を新設しました。売上高については、主に新規連結会社の影響により、前年同四半期連結累計期間を728億円(22.9%)上回る3,905億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、豪州の穀物集荷・輸出事業会社の機能を活用して、日本及び東南アジア諸国への豪州産穀物の販売拡大に取り組みました。食品分野では、農業生産法人株式会社ベジ・ドリーム栗原が、隣接工場自家発電機の廃熱を有効利用したパプリカの生産実証実験を開始しました。また、株式会社Jーオイルミルズ及びインドのRuchi Soya Industries Limitedと共同で、高付加価値植物油脂の製造会社を設立することで合意しました。売上高については、新規連結会社の影響及び市況の上昇により、前年同四半期連結累計期間を111億円(14.4%)上回る875億円となりました。

生活産業本部では、既存事業とのシナジーを図るため、自動車用品・資材及び産業資材分野をグローバル生産部品・ロジスティクス本部に移管するとともに、保険分野では、顧客サービス向上等のため、豊通保険カスタマーセンター株式会社と豊通ファミリーライフ株式会社を統合し、新たに国内トップクラスの保険代理店となる豊通保険パートナーズ株式会社を発足させました。売上高については、ライフスタイル分野にて事業の選択と集中を進めた結果、前年同四半期連結累計期間を11億円(2.6%)下回る403億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上総利益の増加等により409億15百万円となり、前年同四半期連結累計期間（263億43百万円）を145億72百万円（55.3%）上回りました。経常利益は460億69百万円となり、前年同四半期連結累計期間（349億51百万円）を111億18百万円（31.8%）上回りました。一方で、税引後の四半期純利益は、前年同期の段階取得に係る差益の影響等により前年同四半期連結累計期間（226億71百万円）を8億92百万円（3.9%）下回る217億79百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産につきましては、売上債権で678億円、投資有価証券で380億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ970億円増加の3兆6,893億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で114億円、その他有価証券評価差額金で188億円、為替換算調整勘定で362億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ731億円増加の9,931億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月26日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	391,409	337,842
受取手形及び売掛金	1,106,604	1,174,443
たな卸資産	593,155	592,417
その他	220,902	230,179
貸倒引当金	△17,920	△18,696
流動資産合計	2,294,151	2,316,186
固定資産		
有形固定資産	445,370	463,321
無形固定資産		
のれん	256,957	257,650
その他	107,771	113,725
無形固定資産合計	364,729	371,375
投資その他の資産		
投資有価証券	386,026	424,070
その他	119,131	131,716
貸倒引当金	△17,040	△17,288
投資その他の資産合計	488,117	538,499
固定資産合計	1,298,216	1,373,196
資産合計	3,592,368	3,689,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,595	889,221
短期借入金	420,602	415,420
未払法人税等	30,153	24,040
引当金	1,134	1,036
その他	436,587	432,152
流動負債合計	1,765,072	1,761,871
固定負債		
社債	65,000	65,000
長期借入金	727,244	742,956
引当金	28,302	28,735
その他	86,704	97,706
固定負債合計	907,251	934,399
負債合計	2,672,324	2,696,271
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,539	154,637
利益剰余金	531,049	542,434
自己株式	△5,345	△5,008
株主資本合計	745,179	757,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,637	63,476
繰延ヘッジ損益	△9,710	△9,305
為替換算調整勘定	△19,931	16,310
その他の包括利益累計額合計	14,996	70,481
新株予約権	951	865
少数株主持分	158,916	164,765
純資産合計	920,043	993,111
負債純資産合計	3,592,368	3,689,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,640,132	1,896,469
売上原価	1,544,043	1,755,372
売上総利益	96,089	141,096
販売費及び一般管理費	69,745	100,180
営業利益	26,343	40,915
営業外収益		
受取利息	963	976
受取配当金	5,294	8,011
持分法による投資利益	4,810	5,637
雑収入	3,287	3,471
営業外収益合計	14,355	18,096
営業外費用		
支払利息	4,477	6,172
為替差損	—	5,532
雑支出	1,269	1,237
営業外費用合計	5,747	12,942
経常利益	34,951	46,069
特別利益		
固定資産売却益	148	238
投資有価証券及び出資金売却益	758	549
事業撤退損失引当金戻入額	418	—
損害補償損失引当金戻入額	1,024	—
段階取得に係る差益	2,330	—
受取保険金	154	—
その他	80	3
特別利益合計	4,916	790
特別損失		
固定資産処分損	279	145
投資有価証券及び出資金売却損	115	24
投資有価証券及び出資金評価損	554	197
その他	7	29
特別損失合計	956	396
税金等調整前四半期純利益	38,911	46,464
法人税等	11,924	17,409
少数株主損益調整前四半期純利益	26,986	29,054
少数株主利益	4,314	7,274
四半期純利益	22,671	21,779



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	26,986	29,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,903	18,191
繰延ヘッジ損益	1,312	271
為替換算調整勘定	△3,070	34,017
持分法適用会社に対する持分相当額	741	5,597
その他の包括利益合計	△6,919	58,077
四半期包括利益	20,066	87,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,721	77,324
少数株主に係る四半期包括利益	4,345	9,807

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金属	グローバル 生産部品・ロジ スティクス	自動車	機械・エ ネルギー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産業	計				
売上高												
外部顧客への売上高	449,705	212,266	203,280	338,233	317,771	76,475	41,412	1,639,146	986	1,640,132	—	1,640,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	1,297	△0	234	1,435	37	527	3,564	139	3,704	△3,704	—
計	449,739	213,564	203,279	338,467	319,207	76,512	41,940	1,642,710	1,125	1,643,836	△3,704	1,640,132
セグメント利益又は損失(△)	8,259	5,798	8,239	△1,128	3,910	△67	2,122	27,133	△794	26,339	3	26,343

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金属	グローバル 生産部品・ロジ スティクス	自動車	機械・エ ネルギー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産業	計				
売上高												
外部顧客への売上高	456,403	220,211	304,691	396,109	390,579	87,509	40,325	1,895,831	638	1,896,469	—	1,896,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	110	826	36	36	1,281	23	159	2,473	156	2,630	△2,630	—
計	456,513	221,038	304,727	396,145	391,861	87,533	40,485	1,898,304	795	1,899,099	△2,630	1,896,469
セグメント利益又は損失(△)	11,828	7,598	9,662	5,160	5,995	1,548	1,475	43,268	△2,228	41,039	△123	40,915

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主にセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の生活産業・資材の区分に属していた自動車内装用資材・部品等については、所属する区分をグローバル生産部品・ロジスティクスに変更しております。また、生活産業・資材の区分については名称を生活産業に変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントを変更後の報告セグメントの区分方法により組み替えて表示しております。

2014年3月期第1四半期連結決算概要

2013年7月31日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

連結経営成績	第1四半期	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	18,964	16,401	2,563	15.6%
売上総利益	1,410	960	450	46.8%
販売費及び一般管理費	1,001	697	304	-
営業利益	409	263	146	55.3%
利息収支	▲51	▲35	▲16	-
受取配当金	80	52	28	-
持分法による投資損益	56	48	8	-
その他	▲32	20	▲52	-
経常利益	460	349	111	31.8%
特別損益	3	39	▲36	-
税金等調整前 四半期純利益	464	389	75	19.4%
法人税等	174	119	55	-
少数株主利益	72	43	29	-
四半期純利益	217	226	▲9	▲3.9%

主な増減要因
<b>【売上高】+2,563億円</b> 新規連結子会社及び円安による為替影響により自動車本部を中心に増加
<b>【売上総利益】+450億円</b> 売上高の増加による
<b>【販売費及び一般管理費】+304億円</b> 新規連結子会社の影響等により増加
<b>【受取配当金】+28億円</b> 主に単体の増加による
<b>【その他営業外損益】▲52億円</b> 主に為替差損益の悪化
<b>【特別損益】▲36億円</b> 前期段階取得に係る差益等の影響により減少

商品本部別 連結売上高・営業利益	第1四半期	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く	
					増減額	増減率(%)
※上段:売上高、下段:営業利益						
金 属	4,564	4,497	67	430	▲363	▲7.4%
グローバル生産部品・ ロジスティクス	118	82	36	15	21	21.8%
自動車	2,202	2,122	80	396	▲316	▲12.6%
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	75	57	18	10	8	12.3%
自動車	3,046	2,032	1,014	263	751	32.7%
	96	82	14	14	0	0.3%
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	3,961	3,382	579	190	389	10.9%
	51	▲11	62	1	61	-
化学品・ エレクトロニクス	3,905	3,177	728	220	508	15.0%
	59	39	20	5	15	35.4%
食 料	875	764	111	64	47	5.6%
	15	▲0	15	▲0	15	-
生活産業	403	414	▲11	18	▲29	▲6.7%
	14	21	▲7	0	▲7	▲31.2%
合 計	18,964	16,401	2,563	1,582	981	5.5%
	409	263	146	43	103	33.6%

※2013年4月1日より一部の本部を改編し、また、生活産業・資材本部については名称を生活産業本部に変更しております。これに伴い、前年同期数値につきましては、変更後の事業区分により組み替えて記載しております。

主な増減要因
<b>【売上高】</b> 国内及び中国自動車生産台数の減少により減収 <b>【営業利益】</b> 営業外為替差損との入繰りによる影響
<b>【売上高】</b> 中国自動車生産台数の減少により減収 <b>【営業利益】</b> 営業外為替差損との入繰りによる影響
<b>【売上高】</b> 新規連結子会社の影響により増収 <b>【営業利益】</b> のれん償却費増加によりほぼ前年同期並み
<b>【売上高】</b> 石油製品等の取扱い増加により増収 <b>【営業利益】</b> 風力発電子会社の利益増加により増益
<b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響により増収増益
<b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響及び市況の上昇により増収増益
<b>【売上高・営業利益】</b> 繊維関連取扱い減少により減収減益

連結財政状態	第1四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
総資産	36,893	35,923	970	2.7%
(流動資産)	23,161	22,941	220	1.0%
(投資有価証券・出資金)	4,720	4,289	431	10.0%
(その他の固定資産)	9,011	8,692	319	3.7%
純資産	9,931	9,200	731	7.9%
有利子負債(NET)	10,667	9,986	681	6.8%
D E R (NET)	1.3	1.3	▲0.0	

主な増減要因
<b>【流動資産】+220億円</b> ・現預金の減少 ▲536億円 ・売上債権の増加 +678億円
<b>【その他の固定資産】+319億円</b> ・有形固定資産の増加 +180億円 ・無形固定資産の増加 +66億円
<b>【純資産】+731億円</b> ・利益剰余金 +114億円 (四半期純利益 +217億円、配当金 ▲77億円等) ・有価証券評価差額金 +188億円 ・為替換算調整勘定 +362億円

連結業績予想	当期予想	前期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	75,000	63,043	11,957	19.0%
営業利益	1,550	1,158	392	33.8%
経常利益	1,620	1,248	372	29.8%
当期純利益	710	674	36	5.3%

主要指標推移		前年同期 (前期末)	第1四半期
為替(円/米ドル)	平均	80	99
	期末	(94)	99
金利	円TIBOR3M平均	0.34%	0.23%
	米ドルLIBOR3M平均	0.47%	0.28%
トバイ原油(米ドル/bbl)		108	101
豪州一般炭(米ドル/トン)		96	86
シゴコン(セント/Bushel)		618	661